

# 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用戴きたく  
ご案内申し上げます。

謹 白

## 記

- 実施日 2008年3月31日(月)より受託開始
- 新規受託項目

| 検査項目                        | 検体量                      | 保存 | 所要日数 | 実施料           | 検査方法                      | 基準値                            |
|-----------------------------|--------------------------|----|------|---------------|---------------------------|--------------------------------|
| HIV-1RNA定量<br>(項目コード: 4854) | 血清 <sup>※</sup><br>3.0mL | 冷蔵 | 4~6日 | 510点<br>(微生物) | RT-PCR<br>(リアルタイム<br>PCR) | 検出せず <sup>※※</sup><br>(コピー/mL) |

<注> 尚、上記項目は2008年4月1日より実施料が520点に改定されます。

## ☆HIV感染/AIDSの病態診断および長期的な予後の判定に有用です。

HIV-1RNA量は検出限界以下であっても、完全に消失してはいないため、モニタリングには高い感度が求められます。

現行法では、患者の感染状態からウイルス量を予想し、標準法(HIV-1RNA定量)や高感度法(HIV-1RNA定量高感度法)を選択する必要性がありましたが、リアルタイムPCR法では、その必要はなく、広範囲( $4.0 \times 10^1 \sim 1.0 \times 10^7$  コピー/mL)でウイルス量を測定できます。

- ※ 検査必要量が増加するため、現行の3mL採血管から8mL採血管へ変更になります。  
(専用容器となっておりますので、営業担当者にお申し付けください。)



- ※※ 定量報告下限値未満となった場合でも、  
HIVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合は、「40コピー/mL未満」  
HIVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合は、「検出せず」と報告されます。